

## マスク騒動

新型インフルエンザは町の薬局からマスクと手の消毒剤の在庫を空にして、ようやく収まりかけてきたようです。薬局では風の季節も過ぎもってもマスクの手薄な時期で仕入れるのに大変苦労しました。

ピーク時にはインフルエンザ予防には疑問のあるガーゼマスクさえも底をつく状況です。マスクの中う最も信頼の置けるWHOが認定しているマスクも世界に向けて緊急輸出されたことを見れば、日本だけのことではなかったようです。しかし、このマスクは政府筋とか世界的金融関係者などが買い手だったそうです。

日本は昔より風の季節や、咳の出るときはマスクをする習慣がある中で、新型インフルエンザは命にかかわるような報道が氾濫しましたので、マスクパニックが起きてしまったようです。最近では、接客にかかわる仕事の人はマスクをかける準備に入っているとも聞きますし、関西のあたりはすでに実施されているようです。

新型も全国に広がるような心配がありますが、それにつれて新型の実態が見えてきたようで、マスコミは沈静方向の報道も目立ち始めました。

私たちは、マスクがないから予防できないわけではなく、外出先では手を洗う前に、顔の近辺に手を持っていかないこと。外出から帰ったら腕や指の間までしっかり手を洗うこと。そして、俺は大丈夫と流行地区への旅行は慎むようにしましょう。